

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) SA

所属 (School) 商学部 商学科

学年 (Grade) 4年生

留学先 (Name of overseas institution)

ルアーブル大学

留学期間 (study abroad period)

2022/11/5~2022/12/4

記入日 (Date) 2023/02/27

留学レポート Study Abroad Report

きっかけ

私は、第二言語でフランス語を勉強していたわけではなく、独学でたくさん勉強していたわけでもありませんでしたが、フランス文化に興味があり、このプログラムに参加しました。

私は、大学在学中に1年間の海外生活を経験しており、そこで得た考えや経験から、他の国にも訪れて異文化を体感したいと思っていたところ、たまたまユニパでこのプログラムの募集を見つけ、すぐに応募しました。

このプログラムの応募要件は、“フランス語または英語でコミュニケーションが取れる方”だったので、フランス語が話せなくても、フランス文化に興味のある方はぜひ応募してみてください！

ホームステイ

私が、このプログラムの1番の魅力だと思うところは、協定先の大学で日本語を専攻している現地大学生のご自宅にホームステイできるところです。

旅行では、現地の人と深く交流することや、現地の人々の生活を体感できる機会はありませんが、このプログラムでは、約1か月間、現地の人々と寝食を共にするので、日本との文化や考え方の違いにたくさん気づけたり、本場のご家庭のフランス料理を食べれたり、とたくさんの新しい発見や経験ができ、とても楽しかったです。

朝ご飯は、ホストマザーが準備してくれるのでお家で食べ、お昼ご飯は、学校の食堂か、学校近くのレストランで済ませていました。

私の家は、大学からトラムと車を利用しないと帰宅することができないような郊外に位置していたので、ホストマザーかホストファザーがトラムに乗る時間に合わせて帰宅していました。だいたい、17時か18時くらいで、夕食は19時半と遅めの時間に家族みんなで食べていました。

私を受け入れてくれたご家庭は、とても陽気でパパ、ママ、に娘さん一人という家族構成でした。私の場合、フランス語が全く分からなかったため、彼らとコミュニケーションをとるのにとても苦労しました。

私ともう一人、市大から参加している日本人の女の子も、私と同じお家にホームステイをしていたので、その子と一緒に、翻訳アプリを使ったり、身振り手振りで伝えたり、と毎日会話をするのに必死でした。笑

そんな私でもホームステイの方たちは真剣に向き合ってくれて、分からない単語があれば、紙に書いて教えてくれたり、難しい発音も何度も教えてくれたり、食事をとりながらも、野菜やワイン、チーズの名前を教えてくれたり、ととても親切でした。私も日本からお土産で持ってきた調味料を使って和食を振る舞ったりもしました。



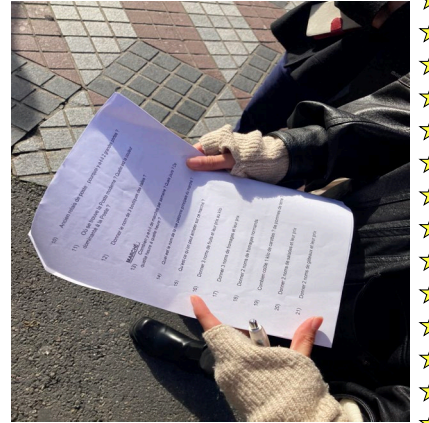
授業

授業は基礎の教科書を使って英語で実施されました。基礎クラスでも、ある程度フランス語を理解していることを前提に授業が進むので、進むスピードはすごく早かったです。授業は、リスニングから始まり、単語・文法学習、最後にライティングの流れですが、YouTube で音楽を聞いて数字や発音を覚えたりすることもあって、授業は毎回とても楽しい雰囲気で行われました。

初級クラスだけでなく、もっとフランス語を勉強したいという方は、希望すれば、長期で留学している方が参加する中級レベルのクラスにも参加できました。

現地では、フランス語の授業しか受講しないのですが、その授業はある日や、ない日もあって、1日平均2時間程度と短いので、空いている時間に日本語クラスに参加したりもしていました。そちらは、フランス語で、フランス人に日本語を教える授業なので、フランス語のリスニング力も鍛えられるし、友達も作れるので楽しくて頻繁に参加していました。

マーケットに実際に足を運んで、事前に渡された質問を現地の人々に聞いて回る、実用的な授業もありました。授業で外出するときはみんなでランチを食べに行くことが多かったです。



自由時間の過ごし方



平日、授業を受けている時間以外は自由だったので、学校の図書館に行ったり、大学近くのショッピングモールで買いものをしたりして過ごしていました。学校の図書館にいれば、誰かしらの友達には出会うので、カフェテラスに行ってお話したりしてました。学生の方は英語が話せる方が多かったので英語で話したり、たまにフランス語の会話に入ってみたり、して交流していました。

このプログラムでは、授業以外の自由な時間が多いので、その時間をどのように有効活用するのかがとても重要だと思います。散歩が好きな友達は、授業の前に海辺まで散歩したり、とにかく町を散策していました。

部活動などは、1年分の会費を支払わないといけないので参加できないようですが、1回の体験なら参加できるよ。と言われました。

たまにですが、日本語クラスで出会った友達がホームパーティーを開催してくれたりもしてすごく楽しかったです。私の場合、終電が18時半くらいでとても早かったのでこの時は友達のお家に泊まりました。

休日の過ごし方

休日は、基本的にはホストファミリーの方と一緒に過ごすことになっていて、少し離れた観光地に連れて行ってくれたり、おじいちゃんのお家にお泊まりに行ったりもしました。お家に親戚の方が泊まりに来ることもあって、幅広い世代のフランス人と交流できて、貴重な体験となりました。

学生だけで遊びたい時や、町を離れてパリに旅行に行きたいことなども伝えると快く受け入れてくれて、柔軟にスケジュール調整を行ってくれました。



最後に

フランス人は、思っていたよりも、英語が話せない人も多く、だからか、恥ずかしがり屋で、初対面の人には控えめな人が多いように思います。留学に行かれることになった際は、ぜひ勇気を出して自分から声をかけてみてください。一度仲良くなると、とても親切で、聞いてもいけないことまであれこれ教えてください。

旅行とは違い、現地の暮らしや文化を深く理解できる貴重な経験を得られると思うので、迷っている方はぜひ応募してみてください！